

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ドキドキキッズ		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な専門性を持った職員が配置されており、一人一人の子どもに対して、多角的に支援ができている 職員配置も十分行えている	児童指導員、保育士、作業療法士や心理士など、様々な資格や経験を持った職員を配置しており、それぞれの経験や知識などが生かせるように、情報交換や研修会を行いながら一人一人の子どもたちにとって一番よい方法での支援内容の検討ができている	内部、外部研修の機会をたくさん持ちながらさらに質の高い発達支援が行えるように取り組んでいきたい
2	個別で課題に集中して取り組めるように、個別の部屋があり、集団で過ごしたり運動を行えるスペースもあるため、様々な支援プログラムを行うことができる	一人一人に対して、どんな課題があるのかをしっかりと把握しながら支援が行えており、支援内容は一人一人に合わせたものとなっている。集団と個別での支援が十分に行える環境が準備できている	専門支援計画書の見直しや振り返りなどを今よりも短い期間で行えるようにして、計画書と子どもたちの発達の状況にずれがないようにしていきたい
3	家庭や、通い先、事業者間との連携がしっかり取れており、子どもに対する一貫した関りや対応ができるようにしている。 保護者との面談や支援現場への参観なども、いつでもしてもらえるように働きかけることができている	保護者との連携を密にしながら、それぞれの通い先や連携機関との面談を行い、情報の共有や問題点、課題や関り方についての話し合いを行うことができている。	就労などでなかなか事業所に来ることができない保護者にも、支援の様子を細かく伝えられるように土曜日に家族支援の機会を作るなど工夫していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	虐待防止への取り組みや避難計画等、災害時への取り組みについての説明が不十分だった	保護者との面談や契約時に、詳しく説明ができていなかった 各マニュアルを見ながら、保護者にもわかりやすく詳しい説明が必要だと感じている	各マニュアルを見ながら、しっかりと説明をして、避難先や災害時についての取り組みを説明するようにする 入所時に、それらをまとめた案内を配布できるように作成する。
2	保護者へのペアレントトレーニングなどができていなかった。 保護者が交流できるような機会も少ない。	開園当時は、利用者も少なく保護者交流の機会が持てなかった。 利用者が増えてきたにも関わらず、保護者への支援や交流の機会があまりもてないままだった	土曜日などは空いている部屋もあるため、ペアレントトレーニングや保護者の交流のイベントなどを定期的に行っていけるように計画、準備をすすめていきたい
3	地域交流などができていない	地域との関りの機会が少なく交流などができていない	地域でのイベントに参加したり近隣の施設との交流を深めるなどの取り組みを積極的に行っていきたい